

財政健全化計画見直し案

- 見直しのポイント
- ①赤字削減の目標額の変更

現行計画: 令和 2 年度の決算ベースの赤字額 581,012千円
見直し案: 令和 5 年度の決算ベースの赤字額 1,408,652千円
- ②適切な計画期間の設定

実現可能な 1 年あたりの赤字削減額の設定

現行計画								
年度	～H31	R 2	R 3	R4	R5	R6	R7	合計
赤字削減予定額	192,325,000	59,636,000	0	82,263,000	82,263,000	82,263,000	82,262,000	581,012,000
保険料率の変更	引上げあり	引上げなし						

R 7年度は見直し案に移行

保険料水準統一案	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	6 年目	7 年目	8 年目	9 年目	10年目	11年目	12年目	
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	合計
赤字削減予定額	117,388,000	117,388,000	117,388,000	117,388,000	117,388,000	117,388,000	117,388,000	117,388,000	117,388,000	117,388,000	117,388,000	117,384,000	1,408,652,000
赤字残予定額	1,291,264,000	1,173,876,000	1,056,488,000	939,100,000	821,712,000	704,324,000	586,936,000	469,548,000	352,160,000	234,772,000	117,384,000	0	
一人当たり保険料増加額	平均 約3,100円／1 年の増加												約36,800円

立川市見直し案	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	6 年目	7 年目	8 年目	9 年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	合計
赤字削減予定額	48,574,000	97,149,000	97,149,000	97,149,000	97,149,000	97,149,000	97,149,000	97,149,000	97,149,000	97,149,000	97,149,000	97,149,000	97,149,000	97,149,000	97,141,000	1,408,652,000
赤字残予定額	1,360,078,000	1,262,929,000	1,165,780,000	1,068,631,000	971,482,000	874,333,000	777,184,000	680,035,000	582,886,000	485,737,000	388,588,000	291,439,000	194,290,000	97,141,000	0	
一人当たり保険料増加額	約1,300円の増加	平均 約2,500円／1 年の増加														約36,800円

- 立川市案の激変緩和策
- ①保険料水準統一案から計画期間を 3 年延長

② 1 年目（R 7年度）の赤字削減額を2年目（R 8 年度）以降の削減額の 2 分の 1 に設定

令和 7 年度保険料案	所得割	均等割	賦課限度額				
令和 6 年度	10.51%	58,300円	医療給付費分	630,000円	後期高齢者支援金分	210,000円	
令和 7 年度	10.62%	58,700円	医療給付費分	640,000円	後期高齢者支援金分	230,000円	
引上げ幅	+ 0.11 %	+ 400円	医療給付費分	+ 10,000円	後期高齢者支援金分	+ 20,000円	

国は R 7年度、賦課限度額の法定上限を医療給付費分 1 万円、後期高齢者支援金分 2 万円引き上げる方針であるため、その上昇分に合わせる。

※立川市の国保加入者のうち、約 6 割の方は均等割の軽減対象になっているため、その対象となっている方々の実際の均等割の増加額は、一人当たり120円～320円となる。